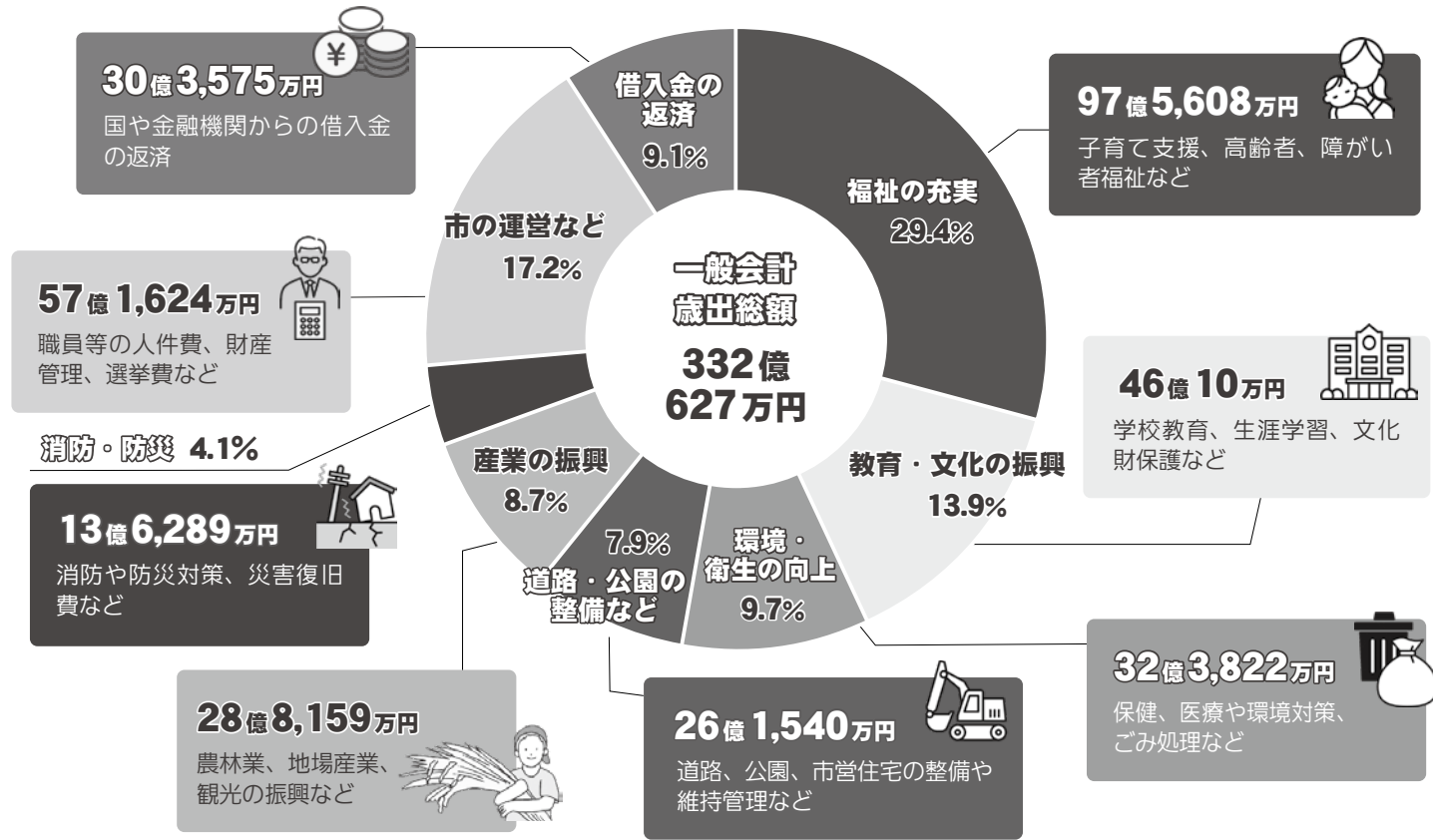


一般会計決算

歳出の状況

歳出の決算額は、前年度（令和5年度 299億1,299万円）と比較して、32億9,327万円増加し、332億627万円となりました。

前年度から増額となった主な要因としては、成沢工業団地の造成工事や湯沢文化会館の大規模改修工事などのほか、物価高騰対策である住民税均等割非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に対する1世帯当たり10万円の給付金の支給などが挙げられます。

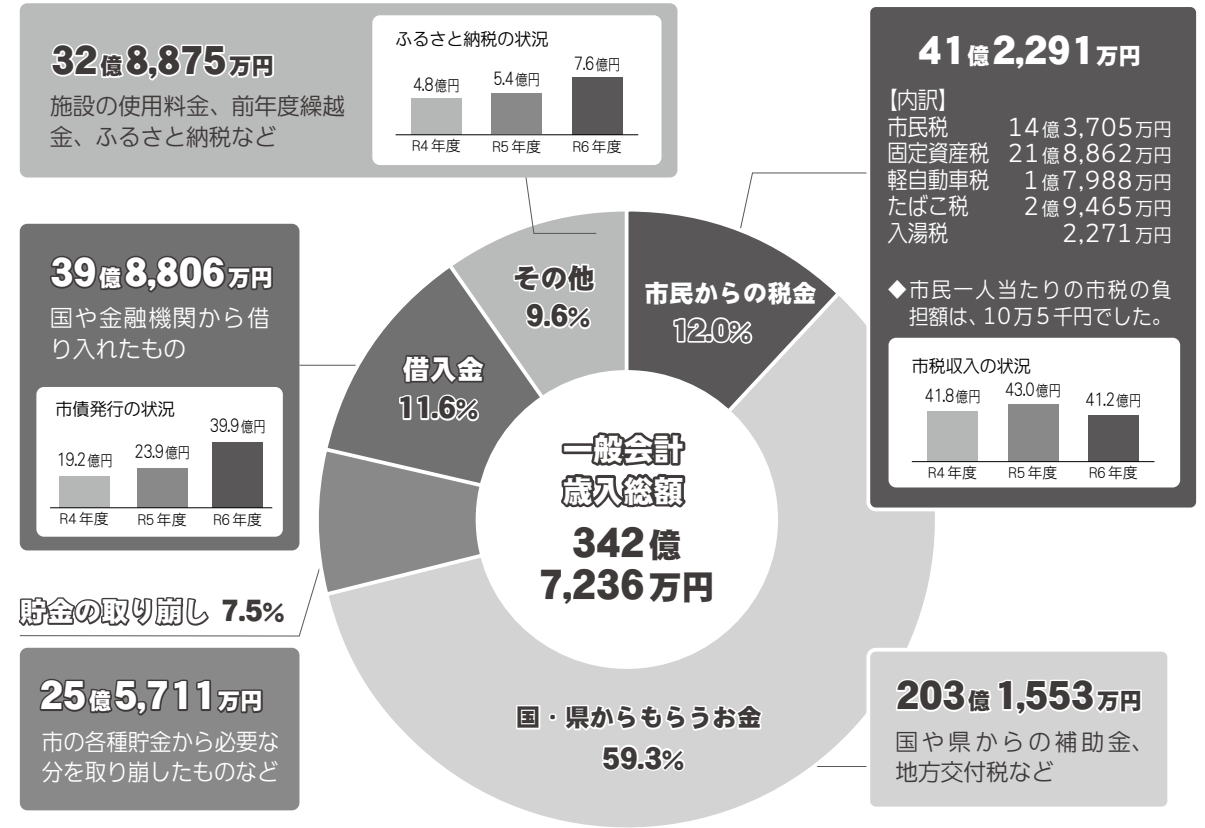


▷一般会計決算について 問 財政課財政班 (☎ 73-2114)

歳入の状況

歳入の決算額は、前年度（令和5年度 311億9,632万円）と比較して、30億7,604万円増加し、342億7,236万円となりました。

ふるさと納税が前年度より2億2,014万円増加したほか、湯沢文化会館や緑風荘の大規模改修などの大型の建設事業に係る地方債の借入が増えたことなどによるものです。



決算の詳細や令和7年度一般会計上半期の予算執行状況は、市ホームページをご覧ください。

info
09

令和6年度

一般会計決算と公営企業会計決算

施設を整備する事業

収入額	5億9,260万円
・企業債借入金	2億5,070万円
・出資金	2億5,536万円
・国庫補助金	1,085万円
・負担金および分担金	7,569万円
支出額	10億2,988万円
・建設改良費	1億3,845万円
・固定資産購入費	3,996万円
・企業債償還金	8億5,147万円

下水処理施設の機械設備などの更新工事や下水管の整備などを行いました。収入から支出を引いた不足分4億3,729万円は、下水処理を行う事業で出た利益の貯蓄などで補いました。

下水処理を行う事業

収入額	15億9,256万円
・下水道等使用料	3億9,603万円
・その他	11億9,662万円
支出額	14億5,591万円
・減価償却費	7億5,343万円
・企業債支払利息	1億2,384万円
・人件費	4,740万円
・その他維持管理費	5億1,732万円
・資産減耗費	1,392万円

下水道等使用料や市からの補助金などの収入に対し、支出は、下水処理を行う経費や設備を維持管理する経費、人件費などでした。なお、消費税抜きの前年度純利益は1億2,926万円となりました。

公営企業会計決算

下水道事業会計

下水道事業会計では、下水道等使用料などによって、下水道施設などを整備・維持管理しています。

施設を整備する事業

収入額	6億6,468万円
・企業債借入金	4億320万円
・国庫補助金	639万円
・一般会計出資金	2億1,216万円
・工事負担金	3,537万円
・加入金	755万円
支出額	11億99万円
・建設改良費	5億5,838万円
・企業債償還金	5億4,261万円

新しく水道管を整備したり、古い水道管を交換したりしました。また、収入から支出を引いた不足分4億3,631万円は、水道水を作り届ける事業で出た利益の貯蓄などで補いました。

水道水を作り届ける事業

収入額	13億6,507万円
・水道料金	8億4,059万円
・その他	5億2,449万円
支出額	11億443万円
・減価償却費	5億5,927万円
・企業債支払利息	7,480万円
・人件費	7,132万円
・その他維持管理費	3億7,088万円
・資産減耗費	2,816万円

水道料金や市からの補助金などの収入に対し、支出は、水道水を作り届ける経費や設備を維持管理する経費、人件費などでした。なお、消費税抜きの前年度純利益は2億1,377万円となりました。

公営企業会計決算

水道事業会計

水道事業会計では、水道料金などによって、水道施設を整備・維持管理しています。

▷公営企業会計決算について 問 上下水道課管理班 (☎ 55-8219)

決算の詳細や令和7年度上下水道事業上半期の業務状況は、市ホームページをご覧ください。